

『インターネット安全教室(H27)』でどんなことを学ぶの？

※『インターネット安全教室』・・・講師によるく出前授業>

ケータイ・スマホのトラブルから

(1) 導入では・・・LINE上の「書き言葉」と実際の「話し言葉」の違いを取り上げます。

- ★スマートフォンの画面を使って、「書き言葉」と「話し言葉」の違いから、自分で意図したわけではないのに、トラブルになった事例を挙げて考えます。
- ★トラブルを解決するためには、顔を見て、直接話すことが大切であることを学びます。



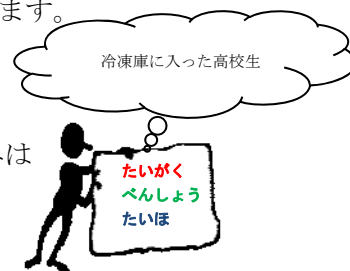
4つの事例について、意見や考えを出し合おう

(2) 展開では・・・事例をもとに4つのトラブルについて、一緒に考えます。

① 「いつのまにか有名に… (問題のある投稿)」について

- ・冷凍庫に入った高校生の1枚の写真がとんでもない事に…。

※ 投稿するということは、世界中の人に知らせること、書きこみは一生消せないことを学びます。



② 「ついつい使い過ぎて… (依存や課金)」について

- ・食事中も、布団中でも手放せない一郎君は、睡眠不足で遅刻したり、イライラしたり、成績が下がったり…
- ・ゲームに夢中な次郎君の家に、クレジットの請求書が届きます。

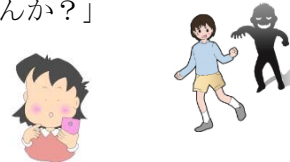
※ 時間の使い方やお金の使い方は、使う前にしっかり考えることを学びます。



③ 「ネットで仲良くなった友達と… (危険な出会い)」について

- ・小学6年生のA子ちゃん、ネットで知り合った大阪のB子ちゃんと意気投合！一緒に会う約束をしましたが…。あなたなら「会いますか？」「会いませんか？」

※ ネットで出会った人は、本当はどんな人かわからない。ネットでの出会いの怖さを学びます。



④ 「仲の良かった友達が… (人間関係)」について

- ・無料通話アプリをしていた仲よしの4人の関係がおかしくなり、みきを外して新しいグループを作った3人、どうしたらいいのか悩む、主人公さき…。

※ VTRを観て考えます。



ケータイ・スマホ・インターネット・・・を安全に使うには？

(3) まとめでは・・・「トラブルにあったときは、大人に相談すること、大人が守ってくれること」

「安全に使うためのルールは、自分たちも考えていかなければならないこと」「フィルタリングの大切さ」を伝えます。

*この授業の後、学年・学級ごとに、インターネットやスマートフォンの使い方について考える事後授業を行っています。



知っていますか？ フィルタリング。

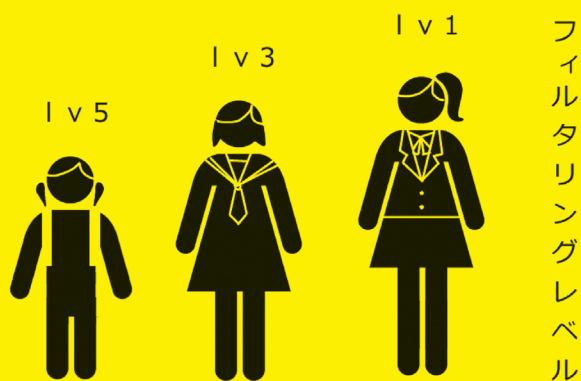
①子どもを有害なサイトから守ります。



②ブロックするのは有害なサイトのみ。
設定次第で必要なアプリは使えます。



③子どもの成長に合わせて使えます。



④安全で安心なネット社会に。



フィルタリングを上手に使い、子どもの安全を守りましょう。

兵庫県警察・兵庫県

制作 兵庫県立大学ソーシャルメディア研究会